

## 島原地域広域市町村圏組合第8期介護保険事業計画作成委員会（第1回）会議録

|               |  |
|---------------|--|
| 開催日時          | 令和2年8月1日（土）午後2時00分から午後3時30分まで  |
| 開催場所          | 島原市役所有明庁舎3階 大会議室   |
| 出席委員<br>（敬称略） | 生田忠照、深堀善彰、中村哲康（※遅れて出席）、松坂誠應、徳永清治、菅喜郎、大田雄三、神崎啓太郎、高柳公司、荒木唱子、林田智志、小峯克彦、久間雅文、平辻心、明島章也、岩永みゆき、石川佳夫、鶴殿妙、中村まり子<br><br>以上19名  |
| 欠席委員<br>（敬称略） | 松藤嘉嗣<br><br>以上1名   |
| オブザーバー        | 尾藤正則（島原市福祉保健部長）、東裕実（雲仙市健康福祉部長）、林田充敏（南島原市福祉保健部長）、堀浩明（島原地域広域市町村圏組合事務局長）<br><br>以上4名  |
| 事務局           | 松本直樹（介護保険課長）、井村栄治（課長補佐兼総務企画係長）、鬼山博久（課長補佐兼給付係長）、甲斐鋭一（業務係長）、吉永真介（認定係長）、中村志保（地域支援係長）、本多江理（総務企画係主任）、塩田真大（総務企画係主事）<br><br>以上8名  |
| 議事            | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 島原地域広域市町村圏組合介護保険事業計画作成委員会設置要綱について</li> <li>(2) 第8期介護保険事業計画作成委員会の公開・運営等について</li> <li>(3) 第8期介護保険事業計画策定方針について</li> <li>(4) 第7期介護保険事業計画に係る自立支援、重度化防止等に向けた取組と目標について</li> <li>(5) 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について</li> </ol> |

|      |  |
|------|--|
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第、配布資料一覧、委員名簿、席次表</li> <li>・ 【資料 1】 島原地域広域市町村圏組合介護保険事業計画作成委員会設置要綱</li> <li>・ 【資料 2】 第 8 期介護保険事業計画作成委員会の公開・運営等について</li> <li>・ 【資料 3】 第 8 期介護保険事業計画策定方針について</li> <li>・ 【資料 4】 第 7 期介護保険事業計画に係る自立支援、重度化防止等に向けた取組と目標について</li> <li>・ 【資料 5】 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について</li> <li>・ 【参考資料 1】 島原地域広域市町村圏組合第 7 期介護保険事業計画パンフレット</li> <li>・ 【参考資料 2】 介護保険パンフレット「みんなのあんしん介護保険」</li> </ul> |
|------|--|

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

島原地域広域市町村圏組合管理者島原市長古川隆三郎より各委員へ委嘱状を交付

## 3 管理者挨拶

島原地域広域市町村圏組合管理者島原市長古川隆三郎より挨拶

## 4 委員及び事務局紹介

司会者より、各委員、オブザーバー及び事務局職員の紹介

## 5 会長・副会長選任

### 【司会者】

資料 1「島原地域広域市町村圏組合介護保険事業計画作成委員会設置要綱」第 4 条の規定により、会長及び副会長を各 1 名置くこととなっている。

会長及び副会長の選任について、委員から意見はないか。

### 【委員】

事務局に案はないか。

**【事務局】**

事務局案としては、前回の第7期介護保険事業計画作成委員会においては、会長を島原市医師会推薦の委員に、副会長を島原南高歯科医師会の委員になっていただいている。

今回は、前回の経緯を踏まえ、会長には南高医師会の菅喜郎委員を、副会長には島原南高歯科医師会の大田雄三委員を、それぞれ事務局案としたい。

**【司会者】**

事務局案について、委員から異議はないか。  
(「異議なし」の声あり)

**【司会者】**

異議がなければ拍手をもって了承いただきたい。  
(各委員拍手)

**【司会者】**

本委員会の会長に菅喜郎委員が、副会長に大田雄三委員が選出された。  
会長と副会長から挨拶を賜りたい。  
(会長、副会長による就任挨拶)

**【司会者】**

この後の進行については、委員会設置要綱第6条の規定より、「委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。」となっていることから、会長へお願いします。

## **6 議事**

**【会長】**

議事(2)「第8期介護保険事業計画作成委員会の公開・運営等について」事務局から説明をお願いしたい。

**【事務局】**

資料2により事務局説明

**【会長】**

委員から意見はないか。  
(質問等なし)

**【会長】**

第1期から第7期までの計画作成委員会において傍聴者はいたか。

**【事務局】**

第1期から第7期までの間において、委員会の傍聴者は0人であった。

**【会長】**

他に委員からの意見はないか。

この公開・運営等については、本委員会で決定することとしているので決をとる。

議事（2）「第8期介護保険事業計画作成委員会の公開・運営等について」事務局案のとおり決定することに意義はないか。

（「異議なし」の声あり）

**【会長】**

異議がないようなので、本案を決定する。

続いて、議事（3）「第8期介護保険事業計画策定方針について」事務局から説明をお願いしたい。

**【事務局】**

資料3により事務局説明

**【会長】**

委員から意見はないか。

**【委員】**

6ページの（2）在宅介護実態調査について、「2調査対象者」は600人と記載されているが、「6調査結果」は670票となっているのはどうしてか。

「2調査対象者」も670人にした方が分かりやすいのではないか。

**【事務局】**

回収数600票を目標として、訪問調査に伴う聞き取り調査を実施し、結果的に670票回収できたのでこのような表記にしたが、ご指摘のとおりである。

**【会長】**

他に委員からの意見はないか。

今後の日程や進め方の説明であったが、このように進めてよいか。

(「異議なし」の声あり)

【会長】

続いて、資料3の中で説明があった国の動向について、参考資料の説明をお願いします。

【事務局】

参考資料により事務局説明

【会長】

続いて、議事(4)「第7期介護保険事業計画に係る自立支援、重度化防止等に向けた取組と目標について」事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】

資料4により事務局説明

【会長】

委員から意見はないか。  
(委員からの意見なし)

【会長】

2ページにおいて、島原半島の要介護認定率について、要支援2と要介護1が多いと示されているが、はっきりとした原因はあるのか。

【事務局】

現在、分析を行っている段階であり、次回の委員会でお示ししたい。

【会長】

3ページの認知症初期集中支援チームの設置について、1チームの設置で自己評価を○としているが、あと2チーム作るという話だったと思うので○にならないと思うがどうか。

【事務局】

会長のご指摘のとおりで、昨年末から島原市医師会及び南高医師会と御協議をさせていただいており、令和元年度中に方向性を検討する予定であったが、新型コロナ

ナウウイルスの影響によりまだ十分に協議が出来ていない状況にある。

事務局案が出来次第、各医師会と事前協議するよう計画している。

#### 【委員】

7ページの住民への周知啓発について、65歳到達者説明会の実施とあるが、私も参加したが、他の参加者が少なく実施する必要があるのか疑問に感じた。

またその説明会の実施にかかる労力が見合っているのか。それよりも資料を送って、相談がある人が日時を決めて相談会などをした方が良いと思うが、事務局としては、参加者が少ない状況で今後も実施されていくのか。

#### 【事務局】

ご指摘のとおり参加率が少ない状態で続けている状況で、これまで開催時間の変更や、土曜日に実施するなどしてきたが、参加率は上がっていない状況にある。

実際に参加された方の意見としては、「来てよかった。」などの意見もいただいている。今後の方向性としては、資料の送付は続けていきたいと思っているが、説明会の開催については、今年度も実施してみても方向性を検討していきたい。

#### 【委員】

2ページの目標に「新たな人材確保の推進」、「介護人材の育成・定着の推進」とあり、実績評価として介護職員等基礎研修事業の実施と実績により評価の結果が○になっており、それについては、現在介護現場で働いている方に対する事業で一定の効果があったと思うが、「新たな人材の確保の推進」についての記載がない。人材確保に対する取組についてはどうか。

#### 【事務局】

ご指摘のとおり、介護人材の育成には取組めたが人材の確保については、取り組めていない現状にある。

本組合でも人材確保に関する主催事業の取組を検討したが、取り組めていない状況にある。今後、本組合としても来年度以降の取組について計画に織り込んでいきたいと考えている。

#### 【委員】

先ほど、要支援2と要介護1が多い原因は何かとあったが、私見として、島原半島の認定率が高いことを考えると、要支援1・2や要介護1が高いのも仕方ないのではないかと思う。

また、要介護4や要介護5が他の地域と比べて低いのであれば、重度化予防に関していえば、良い取組みをしているのではないかと思う。

質問ではないが、新型コロナウイルスや災害が発生している状況で、国からの支援がそのまま見込めるのかどうかで、今後の介護保険の見通しが変わってくる可能性が生じてくると思うので、そういう点も見つめていかなければならないと感じる。

#### 【委員】

6ページの要介護認定の適正化について、「嘱託調査員4人と登録調査員で認定調査を直営化、給付適正化2人を雇用している」とあるが、雇用する前と後で認定率に変化があったのか。

#### 【事務局】

手元に資料がないが、3～4年前に認定率が最大24%まで上がったときがあったが、現在は約22%程度である。介護給付適正化アクションプランに取組み、その効果を示した資料があるので、次回お示ししたい。

#### 【会長】

次回の提示をお願いします。他に委員からの意見はないか。

続いて、議事(5)「保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について」事務局から説明をお願いしたい。

#### 【事務局】

資料5により事務局説明

#### 【会長】

委員から意見はないか。

(委員からの意見なし)

## 6 その他

#### 【会長】

その他として何かあるか。

#### 【委員】

参考資料31ページに、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る目的として布製マスクの配布事業で390億円とあるが、要介護者で洗濯も出来ない可能性もある利用者に布マスクを配布していくのかどうか。

昨日、国の報道において、布マスクについて再検討しようという意見も挙げられていた。

また、配られた布マスクも小さすぎて使われていないという声も聞かれる。そういうことが予測されている状況で計画を策定されていくのかどうか。

**【事務局】**

参考資料でお示ししているマスクについては、介護サービス事業所の職員とサービス利用者のために備蓄することを計画立てることが示されている。

**【委員】**

マスクの種類は、布マスクで決まっているのか。

**【事務局】**

布マスクである。

また、先日国から8千万枚追加配布され、事業所にも届いたという情報を得ている。そのマスクについても、介護サービス事業所の職員と利用者のものである。

**【会長】**

意見として、紙マスクより布マスクの方が効果的だと思う。理由としては、湿度と温度が高くなること、また洗えば再利用も出来る。

また、介護サービス事業所の職員や利用者に対して無償で配ってもらえるのであればありがたいという話も聞いているので、続けていただいても良いのではと思う。

**【会長】**

他に意見等はないか。

**【事務局】**

次回開催予定日を案内

## 8 閉会

**【会長】**

以上をもって第1回第8期介護保険事業計画作成委員会を閉会する。